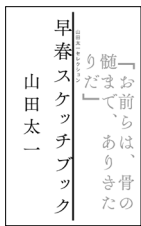


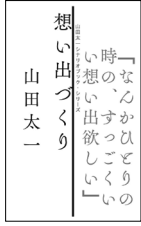
山田太一ドラマの名作が全話収録のシナリオブックで復活。名セリフの数々！



**山田太一セレクション
早春スケッチブック**

ISBN 978-4-907497-04-0
 本体 1,800 円 + 税

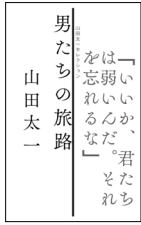
日本テレビドラマ史上の金字塔。ヒューマンドラマで、哲学で、詩的。(大根仁)



**山田太一セレクション
思い出づくり**

ISBN 978-4-907497-05-7
 本体 2,000 円 + 税

市井の人たちの描き方、正論と正論のぶつかり。バイブルです。(岡田恵和)



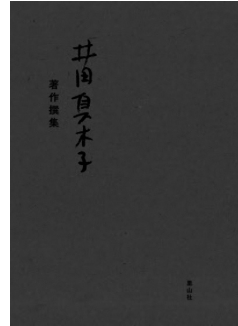
**山田太一セレクション
男たちの旅路**

ISBN 978-4-907497-06-4
 本体 2,200 円 + 税

意外な、でもなるほどと思うことを言ってくれる。それが嬉しい。(頭木弘樹)



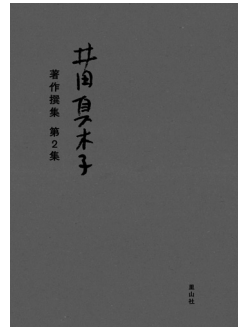
「リアリティとは生きた証」。多くの作家に影響を与えた伝説のノンフィクション作家



**井田真木子著作撰集
著 井田真木子**

ISBN 978-4-907497-01-9
 本体 3,000 円 + 税

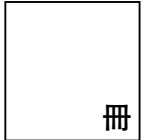
『プロレス少女伝説』『かくしてバンドは鳴りやまず』『同性愛者たち』



**井田真木子著作撰集 第2集
著 井田真木子**

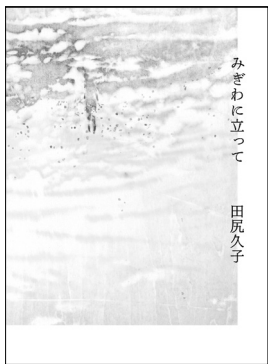
ISBN 978-4-907497-02-6
 本体 3,000 円 + 税

『小蓮の恋人』『ルポ 14 歳』エッセイ、インタビュー他



井田さんは事実をギリギリまで言葉で追い求めることで、事実の向こうにある普遍性の、さらに向こうにある見えない何かを追い求めていた気がする。(酒井順子)

「書店のエッセイ」の枠をはるかに超えた、日常の煌きを気づかせてくれる名エッセイ。



**みぎわに立って
著 田尻久子**



熊本には心を休ませしてくれる橙書店がある。熊本地震後、新しい橙書店で紡ぐ変わらない日常。

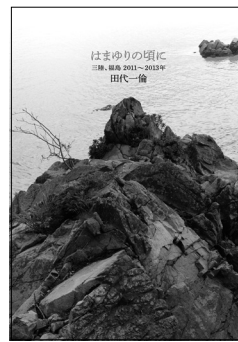
この本には日常のささやかなことによるこび、なぐさめられる、わたしたちの心を癒す力がある。そして人生は続く一読後そう思わずにはられないエッセイである。

(Title 店主・辻山良雄)

ISBN 978-4-907497-08-8
 本体 1,900 円 + 税



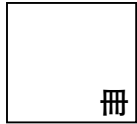
震災後の東北。453 点の肖像と覚書。さがみはら写真新人奨励賞受賞作。



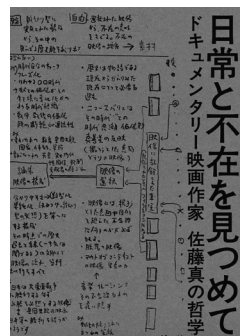
**はまゆりの頃に
三陸、福島 2011 ~ 2013 年
写真 田代一倫**

ISBN 978-4-907497-00-2
 本体 3,800 円 + 税

田代は、ポートレートの像主との間合いをつねに測っている。慎重だが臆病ではない距離だ。ただ「余所者」であることの位置だけが、己の皮膚への文身のように銘記されている。(倉石信乃)



こんなふうにとんとんと、何でもないことを、読ませる文体で書くというのは、ほんとうはとても難しい。それは書くことの技術を超えたもので、そこに「橙書店」とその店主、田尻久子さんのたたずまいがある。(佐々木幹郎)



**日常と不在を見つめて
ドキュメンタリー映画作家
佐藤真の哲学 著 佐藤真他**

ISBN 978-4-907497-03-3
 本体 3,500 円 + 税

90 ~ 00 年代。見えない世界と格闘した映画作家の記録。佐藤のエッセイ傑作選と佐藤に惹きつけられた 32 人の書き下ろし原稿他。赤坂憲雄 / 平田オリザ / 榎木野衣 / 港千尋 / 想田和弘他

